令和7年度採用 鳥羽市地域おこし協力隊募集要項

令和7年5月1日

～三重県鳥羽市概要～

鳥羽市の人口は16,250人（令和7年3月末）で、三重県東端部の志摩半島に位置し、伊勢湾と太平洋・熊野灘に面した4つの有人離島と半島部から構成されています。市域面積107.34平方キロメートルのうち、70%以上を森林が占め、主に平地は海岸線沿いに分布されており、市域の多くは急峻な山地になります。海岸線は、風光明媚なリアス海岸が形成されており、全域が昭和21年に伊勢志摩国立公園の指定を受けています。

鳥羽の海は漁業の生産性が高い好漁場として、古くから漁業が営まれてきました。豊かな資源を背景に、長い歴史の中で伊勢神宮に食材を納めてきた深い繋がりがあります。また、魅力ある観光施設や豊かな海産物を求めて、伊勢神宮の参拝客を中心に多くの観光客が訪れる「漁業と観光のまち」です。

しかしながら、本市では少子高齢化が進んでおり、空き家問題や漁業の後継者不足などの課題が発生しています。そこで、このたび本市へ移住し、地域おこし活動を行う“鳥羽市地域おこし協力隊”の新規隊員を募集します。

1、募集内容

鳥羽市地域おこし協力隊員「空き家の利活用による地域活性化担当」 1名

■まちのビジョン

人口減少・少子高齢化により、全国的に空き家が増えており、本市にいても住宅・土地統計調査によると平成30年の総住宅数は10,160戸のうち空き家が2,740戸と年々増加しています。空き家等はまちの魅力の低下を引き起こすことや、地域住民の生活環境にも悪影響を及ぼします。そんな中、空き家や空き店舗をリノベーションした物件なども増えるなど活用に向けた取り組みもされています。

■ミッション

鳥羽市、地域住民、関係団体等と密に連携しながら、次の表に掲げる活動を行う。

- ・鳥羽市空き家バンクの運営として、新規物件の登録や値段設定の相談等
- ・空き家の利活用についての購入希望者からの相談対応
- ・鳥羽市空き家対策事業への協力
- ・リノベ物件等を活用したイベントへの参加
- ・関係人口の増加に関する事業への協力
- ・その他、地域行事等に積極的参加し、地域の課題や魅力を見極める

■求める人物像

①年齢：18歳以上

②性別：問わない

③コミュニケーション能力・不動産についての知識を有する方を優遇します。

※報償費が増額されるなどの優遇ではありません。

2、募集要件

次の項目をおおむね満たす方。

- ・現在 3 大都市圏等（過疎・山村・離島・半島地域以外の都市地域）に住民票がある方で、採用後に鳥羽市へ住民票を異動させて鳥羽市内に居住できる方

※総務省地域おこし協力隊の地域要件を満たす方

※住民票の異動については、事前に市と協議すること

- ・心身ともに健康で誠実に活動を行うことができる方
- ・地域活性化に意欲があり、行政や地域住民とのコミュニケーションが取れる方
- ・地域の祭りや行事など地域活動に積極的に参加できる方
- ・普通自動車運転免許を取得している方
- ・Word、Excel、インターネットなど基本的なパソコン操作ができる方
- ・活動期間終了後も鳥羽市に定住又は関係する意欲のある方
- ・市の条例及び規則等を遵守し、職務命令等に従うことができる方
- ・地方公務員法第 16 条の欠格事項に該当しない方

3、活動形態・期間

- ・鳥羽市地域おこし協力隊として鳥羽市長が委嘱します。

※市との雇用契約はありません

- ・初年度の委嘱期間は着任日から着任日の属する年度の末日までの1年以内とします。

※着任日については応相談とさせていただきます。

- ・次年度以降の委嘱については活動状況や実績等を勘案し、委嘱期間を更新することができます、最長3年間とします。
- ・協力隊員としてふさわしくないと判断した場合は、委嘱期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。
- ・隊員としての活動に支障がなければ兼業を認めますが、その場合は、事前に市役所に連絡してください。

4、活動時間

- ・活動日数：原則月 20 日（土日祝日も活動日となることがあります）
- ・活動時間：1 日 7 時間、週 35 時間程度を基本とします。

5、報償費

月額 260,000 円（所得税を引いた額を支給）

- ・ 1 カ月間の活動実績に応じて翌月に支給します。
- ・ 1 カ月間の活動日数が 20 日に満たない場合は、1 日当たり 13,000 円の日割り計算により支給します。

※その他、賞与、時間外手当、退職手当等は支給しません。

6、待遇・福利厚生

- ・ 雇用保険には加入しません。健康保険料及び年金保険料は自己負担とします。
- ・ 活動中の住居はアパート又は空き家を借りていただき、市が上限付きでその家賃を補助します。ただし、引っ越し費用及び光熱水費は個人負担になります。
- ・ 活動に必要なパソコンや事務用品については、市が用意したものを適宜無償貸与します。
- ・ 活動に必要な車両については、原則として市による私用物の借り上げとなります。
- ・ その他、活動に必要なもの（出張に係る旅費、消耗品、その他活動にかかる経費等）については、予算の範囲内で支出します。

7、募集期間

令和7年5月1日（木）～令和7年5月23日（金）まで

8、応募手続き

次の書類を下記の申込み先あてに提出してください。

- （1）鳥羽市地域おこし協力隊応募用紙（別紙様式） 1 部
- （2）住民票抄本（住所・氏名・生年月日・性別がわかるもの） 1 部

9、選考の流れ

- （1）一次選考（書類選考）
- （2）二次選考（オンライン面接）

募集期間中に応募のあった者から順次一次選考（書類選考）を実施し、その合格者を対象に二次選考（面接）を実施します。

10、申込み・問い合わせ先

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号

鳥羽市企画財政課移住・定住係「地域おこし協力隊担当」あて（担当：山本・岡田）

Tel : 0599-25-1227、Fax : 0599-25-3111、Mail : iju-teiju@city.toba.lg.jp

12、その他

その他、不明な点や質問等については上記担当までお問い合わせください。

なお、ご応募いただいた内容について担当から連絡させていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。